

| | | | |
|----------|--|---------|---|
| 科目 | 地域学 (Regional Studies) | | |
| 担当教員 | 八百 俊介 教授 | | |
| 対象学年等 | 全専攻・2年・前期・選択・2単位 | | |
| 学習・教育目標 | C3(100%) | JABEE基準 | (a),(b) |
| 授業の概要と方針 | 地域社会集団について、組織構造・運営方法の現状と変遷を社会的背景からたどった後、機能の分類と実態、変化の内的・外的要因を考察する。最後に地域社会が今後果たすべき役割とその実現方法について検討する。 | | |
| | 到達目標 | 達成度 | 到達目標別の評価方法と基準 |
| 1 | [C3]地域社会への帰属問題,制度上の変遷の背景が理解できる | | 地域社会への帰属と派生する問題,制度上の変遷の社会的背景が時系列的に把握できているか定期試験,レポートで評価する, |
| 2 | [C3]地域社会の組織構造を理解し,機能を分析することができる | | 地域社会の組織構造が理解できているか,機能を分析することができるか定期試験,レポートで評価する |
| 3 | [C3]地域社会の機能の変化要因が理解できる | | 地域社会の機能変化に関する内的・外的要因が説明できるか定期試験,レポートで評価する |
| 4 | [C3]地域社会を活性化させる方策が理解できる | | 地域社会を活性化させる方策が提示できるか定期試験で評価する |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 総合評価 | 成績は,試験85% レポート15% として評価する.100点満点とし,60点以上を合格とする | | |
| テキスト | プリント | | |
| 参考書 | 授業時に提示 | | |
| 関連科目 | なし | | |
| 履修上の注意事項 | フィールドワークを含むレポートを課す | | |

授業計画(地域学)

| | テーマ | 内容(目標・準備など) |
|----|---|-------------------------------------|
| 1 | 地域社会集団の位置づけ | 地域社会への帰属問題と性質の変化,その背景を解説する |
| 2 | 地域社会の組織構造 | 地域社会集団の組織構造を解説する |
| 3 | 地域社会の機能分類 | 現代の地域社会集団が果たしている機能を分類する |
| 4 | 機能の変化と要因1 | 地域社会集団の機能が変化した要因を解説する.外的要因 |
| 5 | 機能の変化と要因2 | 地域社会集団の機能が変化した要因を解説する.情報の欠如 |
| 6 | 機能の変化と要因3 | 地域社会集団の機能が変化した要因を解説する.人材の不足 |
| 7 | 組織再編-人の確保1- | 地域社会を活性化するための人材確保の手法を検討する.加入促進の方法 |
| 8 | 組織再編-人の確保2- | 地域社会を活性化するための人材確保の手法を検討する.役員の確保 |
| 9 | 組織再編-人の確保3- | 地域社会を活性化するための人材確保の手法を検討する.機能の拡大 |
| 10 | 活動と領域-場と空間1- | 地域社会集団の活動を支える場所の確保について検討する.現状分析 |
| 11 | 活動と領域-場と空間2- | 地域社会集団の活動を支える場所の確保について検討する.既存施設の利用 |
| 12 | 活動と領域-場と空間3- | 地域社会集団の活動を支える場所の確保について検討する.古典的手法の復活 |
| 13 | 会計-財源と使い道1- | 地域社会集団の活動を支える会計について考える.現状と問題点 |
| 14 | 会計-財源と使い道2- | 地域社会集団の活動を支える会計について考える.収入拡大と問題点 |
| 15 | 会計-財源と使い道3- | 地域社会集団の活動を支える会計について考える.支出の再考 |
| 16 | | |
| 17 | | |
| 18 | | |
| 19 | | |
| 20 | | |
| 21 | | |
| 22 | | |
| 23 | | |
| 24 | | |
| 25 | | |
| 26 | | |
| 27 | | |
| 28 | | |
| 29 | | |
| 30 | | |
| 備考 | 本科目の修得には,30 時間の授業の受講と 60 時間の自己学習が必要である. 前期定期試験を実施する。 | |